

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【荏原小学校】

＜第5学年：みんなで守ろう！かけがえのない命＞



校区に起こりうる災害について学んだ後、これから自分たちができる防災について、各自が調べたいテーマを設定して調べ学習に取り組んだ。調べてきたことをみんなに伝える中間発表会をもったことが刺激となり、みんながより安全に暮らせる街づくりをしたい、調べたことを他学年、家庭や地域の人にも伝えたい、災害が起きる原因の気候変動を調べたいなどの意欲をもち、発展的な学習へとつながった。さらに調べ進めて、まとめたことを学年全体保護者へと発表する機会を設定した。参観日にも発表したことで、児童だけでなく地域や保護者の方々にも防災について啓蒙することができた。児童も、災害への備えなど学んだことを実践したいという意識をもつことができた。



＜第4学年：やさしい町えばら～ごみをへらそう～＞

社会科「ごみのゆくえ」の学習後、環境への意識が高まった児童の声で「ごみをへらそうプロジェクト」が始まった。調べたいテーマ別のグループで、「SDGsについて調べよう」「ペットボトルリサイクル」「ごみの今と昔」「3R+2R」などを追究していく活動を行った。インターネットや図書館で調べたり、家の人に聞いたりしてきたことを、タブレットを使ってプレゼンテーションにまとめた後、学級内での発表会をもった。友達の発表を聞いた児童は、SDGsへの関心が高まっただけでなく、身の回りに自分たちでできることがあるたくさんあることにも気づき、ごみを減らす活動をもっと続けたい、家の人や地域の人へも知らせたいという意欲が高まった。そこで、校内でごみを拾う活動をしたり、家に帰って調べて分かったことや自分にできる取組について家庭にも知らせたりすることで、より環境へ目を向けるようになった。

